

観光に関する調査データ
～最近1年間にかけた国内旅行 編～

2024年7月

朝日大学マーケティング研究所

- 調査手法 : WEBリサーチ
- 調査期間 : 2024年 6月10日 (月) ~ 6月18日 (火)
- 調査対象 : 首都圏在住の男女 18歳~59歳
- 有効回答 : 480名

【内訳】

	男性	女性
18~29歳	60名	60名
30~39歳	60名	60名
40~49歳	60名	60名
50~59歳	60名	60名
合計	240名	240名

※今回は「国内旅行」を以下のとおり定義づけて調査を行った

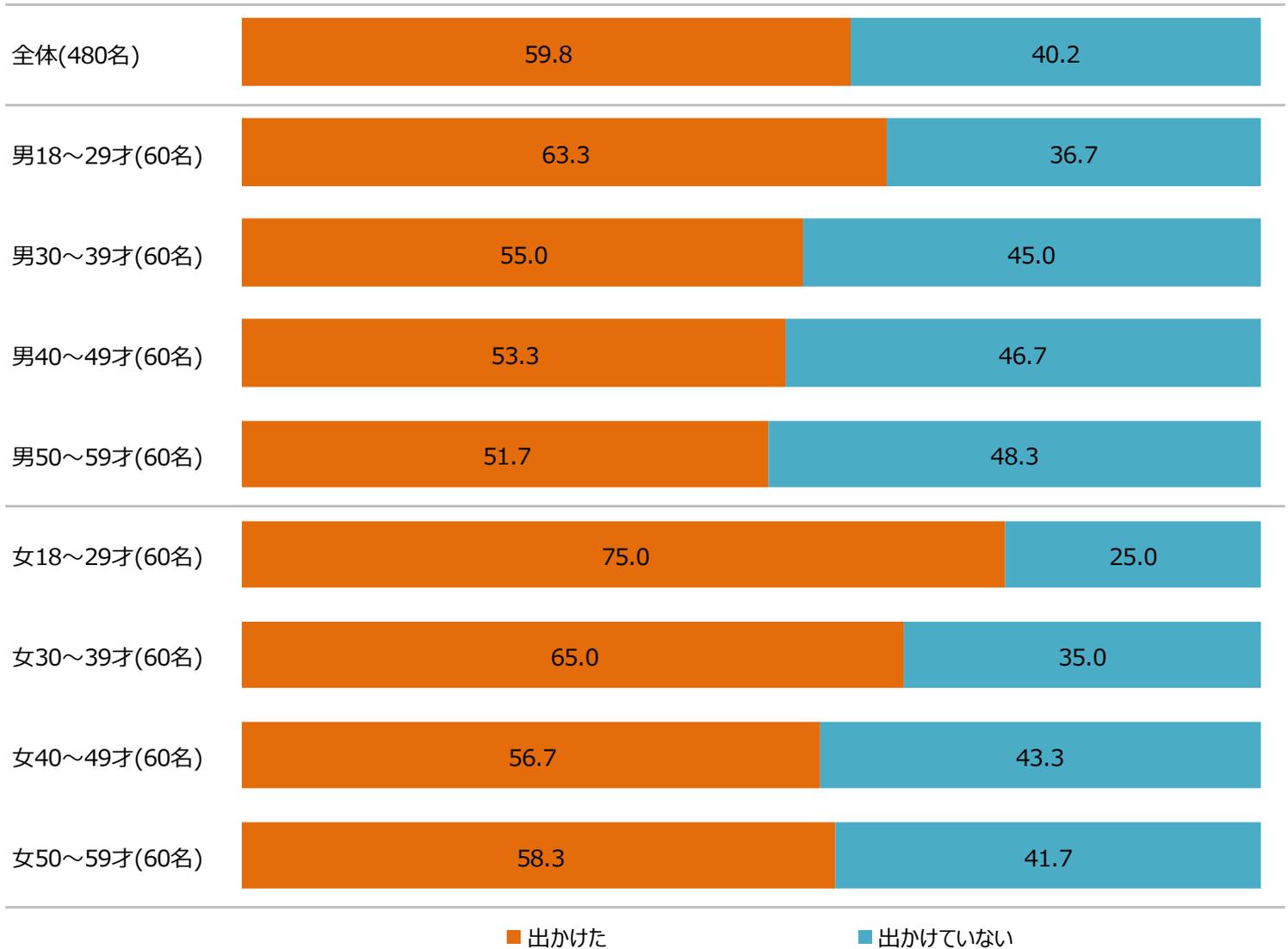
- ・宿泊を伴う国内旅行であること
- ・日帰り旅行は含まない
- ・帰省、出張、修学旅行は含まない
- ・海外渡航を伴う国内旅行は含まない

- 最近1年間では約6割（59.8%）が「宿泊を伴う国内旅行」に出かけた。
- 性別で見ると各年代で男性より女性の割合が高く、年代別で見ると男女とも18～29才で割合が最も高く、次いで30～39才が高い。

Q1_1.最近1年間（2023年6月～2024年5月）に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけましたか。(SA)

N=全員

単位：%

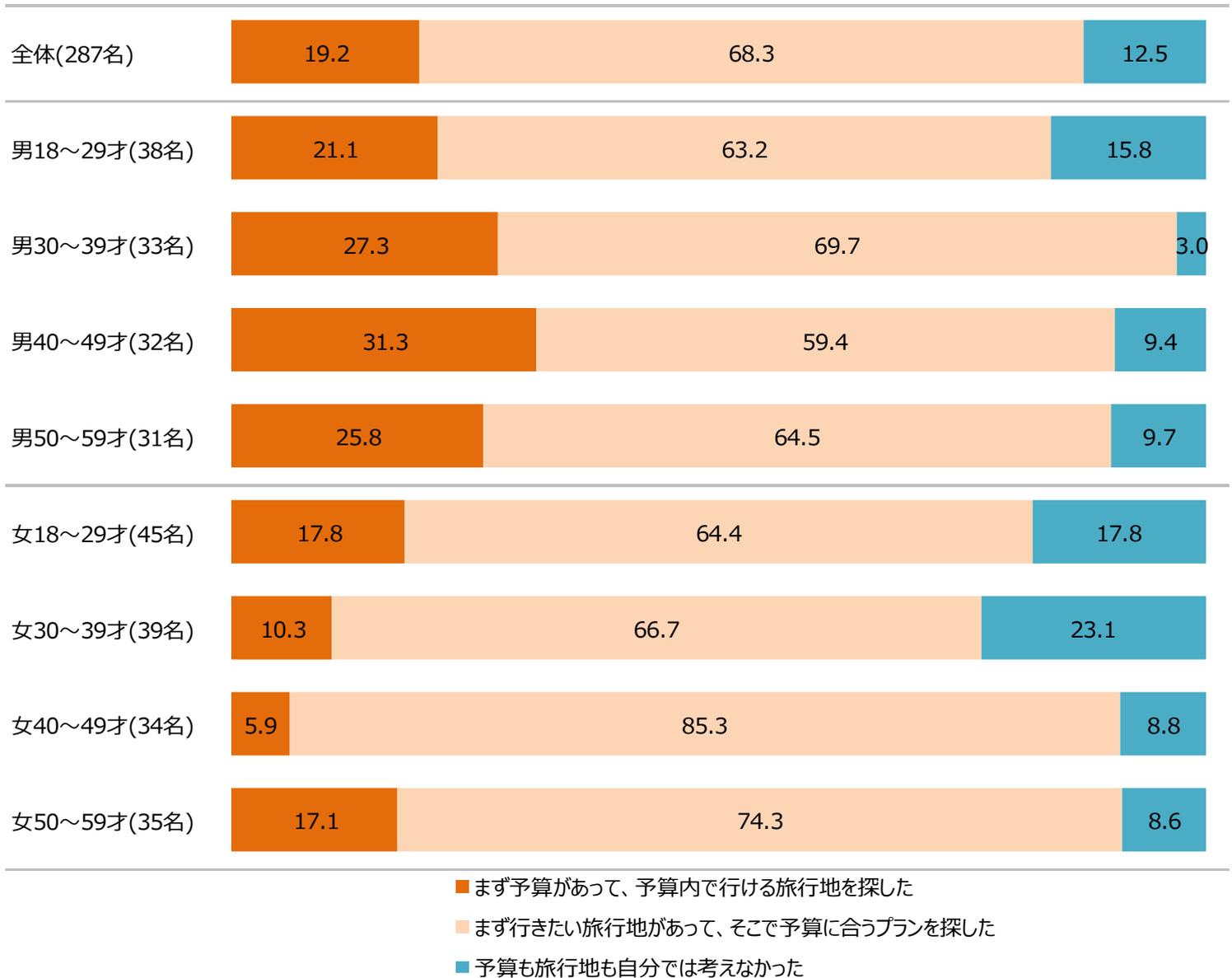


- 「宿泊を伴う国内旅行」を考えたプロセスとしては、旅行地→予算（※）の順で考えた人が約7割（68.3%）を占めた。一方、予算→旅行地（※）の順で考えた人は約2割（19.2%）に留まった。
 - 男性は後者の割合が女性よりも高く、特に男40～49才では3割以上（31.3%）と高い。
- ※旅行地→予算：「まず行きたい旅行地があって、そこで予算に合うプランを探した」
 ※予算→旅行地：「まず予算があって、予算内で行ける旅行地を探した」

Q2.最近1年間に出かけた「宿泊を伴う国内旅行」を考えたプロセスとして、あなたはどちらにあてはまりますか。(SA)

n=最近1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけた人（Q1_1=「出かけた」）

単位：%



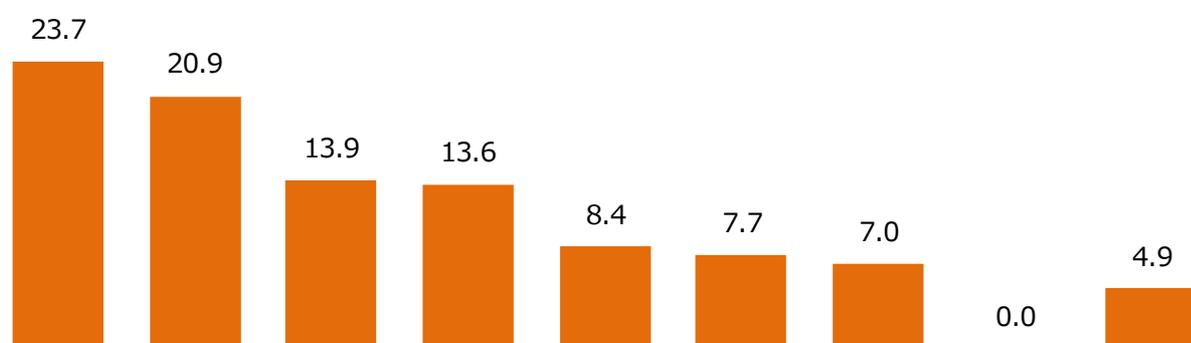
- 「宿泊を伴う国内旅行」の費用については、「数カ月前から少しずつお金を貯めて、旅行費用を確保した」（23.7%）と「預貯金を取り崩して、旅行費用を確保した」（20.9%）が2割以上と高い。
- 男女の50～59才では「クレジットカードなどで先払いにして、旅行費用を確保した」の割合が高く、「家族や知人に旅行費用を支払ってもらった」は男18～29才と女30～39才で高い。
- 女性の30～39才と40～49才では「1～2カ月の出費を切り詰めて、旅行費用を確保した」の割合がともに1割以上と相対的に高い。

Q3.最近1年間に出かけた「宿泊を伴う国内旅行」の費用を確保したプロセスとして、あなたにあてはまるのをひとつ選んでください。(SA)

n=最近1年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけた人 (Q1_1=「出かけた」)

単位：%

■ 全体



	調査数	数カ月前から 少しずつお金を 貯めて、旅行 費用を確保 した	預貯金を取 り崩して、旅 行費用を確 保した	クレジッ トカード などで先 払いして、 旅行費用 を確保 した	ボナ ス、還 付金、 補助 金など の臨時 収入で、 旅行費 用を確 保した	家族や 知人に 旅行費 用を支 払って もらっ た	1～2 カ月の 出費を 切り 詰めて、 旅行費 用を確 保した	貯ま ったポ イント やクー ポンを 併用し て、旅 行費用 を確保 した	借金 で旅行 費用を 確保 した	その他
全体	287名	23.7	20.9	13.9	13.6	8.4	7.7	7.0	0.0	4.9
男18～29才	38名	18.4	18.4	13.2	18.4	15.8	5.3	5.3	0.0	5.3
男30～39才	33名	18.2	27.3	15.2	18.2	6.1	6.1	6.1	0.0	3.0
男40～49才	32名	34.4	28.1	15.6	9.4	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0
男50～59才	31名	19.4	19.4	19.4	16.1	0.0	6.5	9.7	0.0	9.7
女18～29才	45名	28.9	20.0	8.9	13.3	6.7	8.9	8.9	0.0	4.4
女30～39才	39名	23.1	17.9	7.7	10.3	15.4	10.3	10.3	0.0	5.1
女40～49才	34名	26.5	20.6	14.7	5.9	8.8	14.7	2.9	0.0	5.9
女50～59才	35名	20.0	17.1	20.0	17.1	11.4	2.9	5.7	0.0	5.7

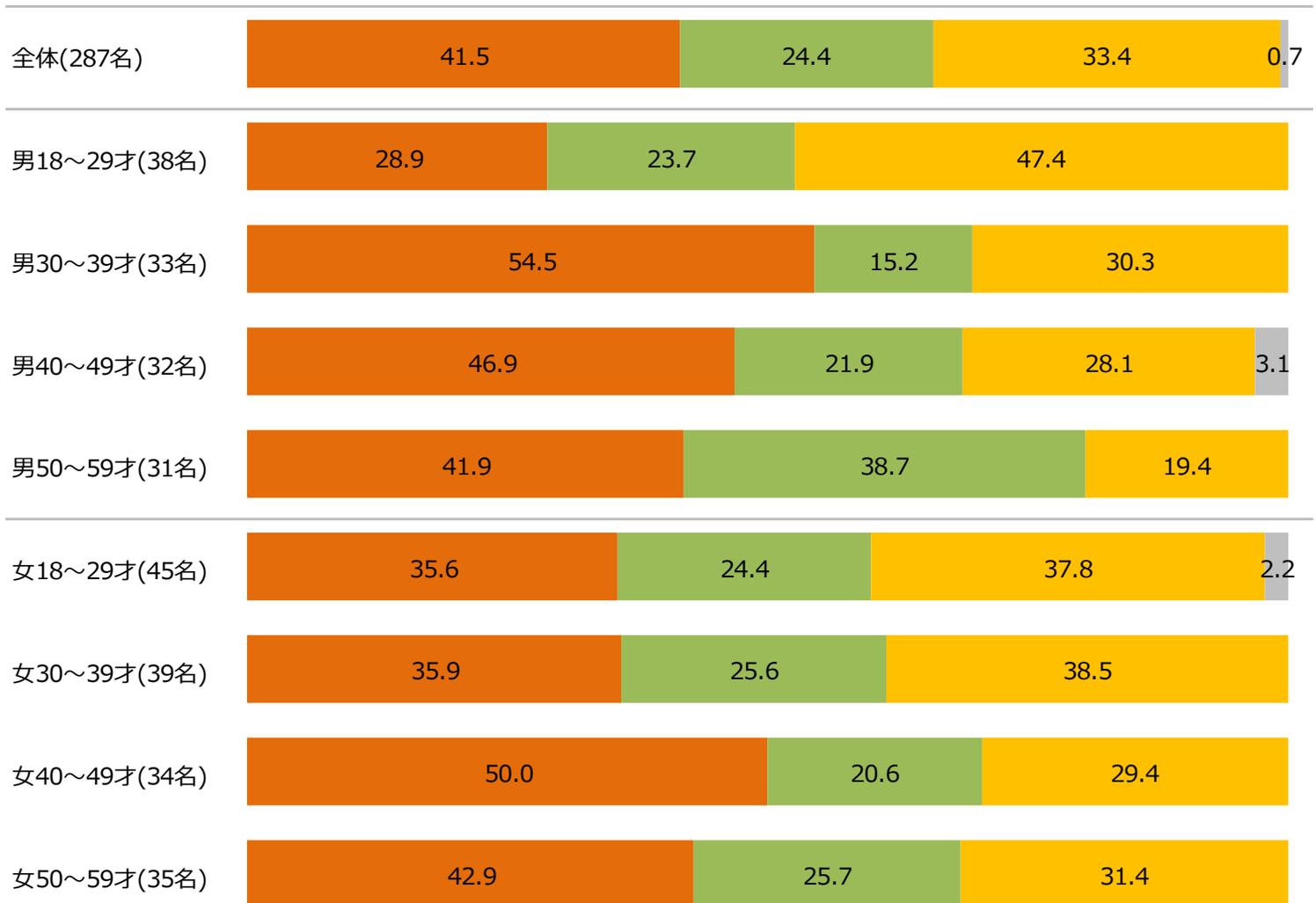
※ハイライトは20%以上

- 「宿泊を伴う国内旅行」の候補地の検討プロセスとしては、「そのとき自分の頭に思い浮かべた候補地から選んだ」が41.5%と最も高く、次いで「旅行の同行者から提案された候補地から選んだ」（33.4%）が高い。
- 前者は男30～39才、女40～49才で5割台と高く、男18～29才、女18～29才、女30～39才では2～3割台と低い。

Q4.最近 1 年間に出かけた「宿泊を伴う国内旅行」の行き先の候補を検討したプロセスとして、あなたはどれにあてはまりますか。(SA)

n=最近 1 年間に「宿泊を伴う国内旅行」に出かけた人 (Q1_1=「出かけた」)

単位：%

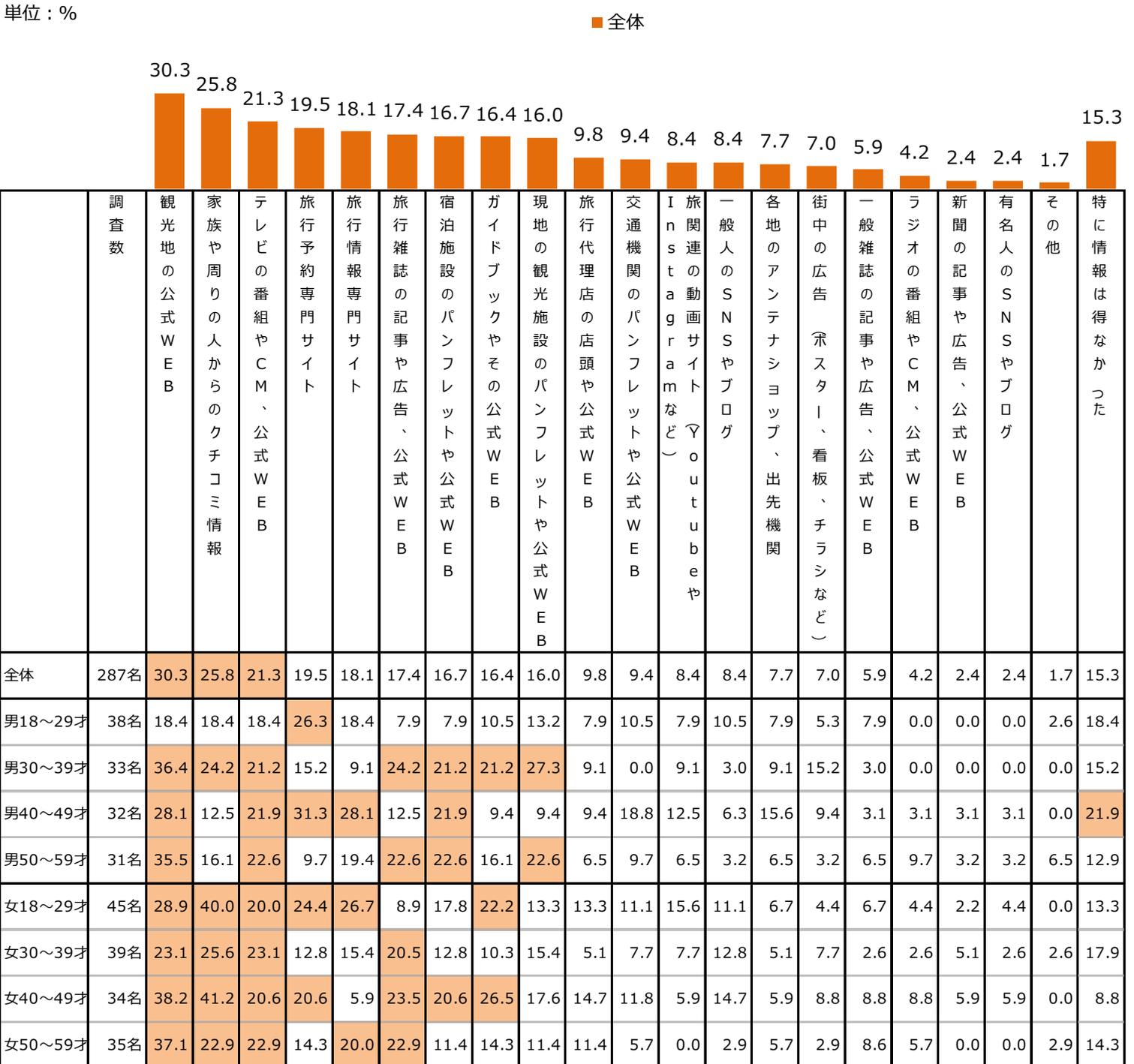


- そのとき自分の頭に思い浮かべた候補地から選んだ
- そのとき外部（ネットやメディアなど）から得た情報を参考に候補地を選んだ
- 旅行の同行者から提案された候補地から選んだ
- 旅行の同行者ではない人から提案された候補地から選んだ

- 「宿泊を伴う国内旅行」の情報源としては、「観光地の公式WEB」(30.3%)の割合が最も高い。
- 他に「家族や周りからのクチコミ情報」(25.8%)や「テレビの番組やCM、公式WEB」(21.3%)の割合が2割以上と高い。
- 女18~49才では「家族や周りからのクチコミ情報」の割合が最も高く、男性の18~29才と40~49才では「旅行予約専門サイト」の割合が最も高い。

Q5.最近1年間にしかけた「宿泊を伴う国内旅行」の旅行地に関する情報を得た経路をすべて選んでください。(MA)

n=最近1年間に「宿泊を伴う国内旅行」にしかけた人(Q1_1=「しかけた」)



※ハイライトは20%以上

● 最近 1 年間で約 6 割が国内旅行を実施

最近 1 年間では、59.8%が宿泊を伴う国内旅行に出かけた。

性別でみると各年代で男性より女性の割合が高く、年代別でみると男女とも18～29才の割合が最も高かった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて行動制限が大幅に緩和されたなか、女性および20～30代において国内旅行に出かけた人が多くみられた。一方で男女とも40～50代の割合は低かった。

国内旅行に出かけた割合は18～39才で高かったが、18～29才でも、30～39才でも、男女の差が1割以上と特に大きかった。最近 1 年間で国内旅行に最も積極的だったのは女18～39才である。

● 「予算」よりも「目的地」のほうが優先事項

宿泊を伴う国内旅行の計画プロセスとしては、「まず行きたい旅行地があって、そこで予算に合うプランを探した」が68.3%と多数を占め、「まず予算があって、予算内で行ける旅行地を探した」は19.2%に留まった。国内旅行は、予算ありきではなく、目的地ありきで計画されるケースが圧倒的に多い。

この傾向は女性で強くみられ、特に女40～49才と女50～59才で前者の割合が高かった。女性でも18～29才と30～39才では「予算も旅行地も自分では考えなかった」の割合が相対的に高く、旅行の計画を人任せにした割合も高かった。また男性は女性に比べて「まず予算があって、予算内で行ける旅行地を探した」の割合が高く、予算ありきで国内旅行の計画を検討したケースが少なくなかった。

女性は「目的地」、男性は「予算」が国内旅行を検討する際の優先事項となりやすい。

● 「コツコツ貯める」「預貯金を取り崩す」が費用の主な確保法

宿泊を伴う国内旅行の費用を確保した方法については、「数カ月前から少しずつ貯めた」(23.7%)と「預貯金を取り崩した」(20.9%)の割合が高かった。国内旅行の実施は必ずしも計画的ではなく、突発的に決まることがあり、預貯金を念頭にしたケースも少なくない。男女の40～49才と50～59才では「クレジットカードなどで先払いにした」の割合も高かった。

旅行費用を確保する方法は、前々から計画してコツコツと貯めるだけでなく、預貯金や先払いなど選択肢も増えている。費用を確保する面で、予算よりも旅行地を優先しやすい環境が整っている。

● 頭に思い浮かぶ場所が国内旅行の候補地となりやすい

宿泊を伴う国内旅行の候補地の検討プロセスにおいては、「そのとき自分の頭に思い浮かべた候補地から選んだ」(41.5%)の割合が最も高く、「旅行の同行者から提案された候補地から選んだ」(33.4%)が次いで高かった。「そのとき外部(ネットやメディアなど)から得た情報を参考に候補地を選んだ」は24.4%に留まった。

国内旅行の候補地として検討されるには、旅行に出かけたいと思ったときにその人または同行者の頭に思い浮かぶことが必要である。頭の片隅に残しておいてもらうために、観光地として情報を提供し続けることが大切である。短期だけでなく、長期視点に立った広報活動が欠かせない。

● 主な情報源は「観光地の公式WEB」

旅行者の3割以上が宿泊を伴う国内旅行の情報源として、「観光地の公式WEB」を活用した。他に「家族や周りの人からのクチコミ情報」「テレビの番組やCM、公式WEB」「旅行予約専門サイト」「旅行情報専門サイト」が上位に挙がった。

ネットを通じて伝わる情報が多く、ネット経由の伝達が以前にも増して重要となっている。

トピックスリサーチ

観光に関する調査データ ～最近1年間にかけた国内旅行 編～

発行日 2024年 7月 31日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所

〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積1851

TEL : 058-326-1173

お問い合わせ marketing@alice.asahi-u.ac.jp